

大好評!

古田織部の世界

古田織部美術館館長
宮下玄覇 著

今年は古田織部四百年遠忌の節目の年です。

A4判 並製本 カラー1160頁(予定)・モノクロ200頁 定価(本体)1,800円(税別) ISBN 978-4-8016-0001-0 C0021

「へうげもの」といわれた茶碗のほか、 漠然としていた織部好みのすべてが ここに解明—— カラー図版200余点掲載

「天下一」武将茶人古田織部の切り拓いた独自の“美”。著者の20年にわたる研究成果を豊富なビジュアル資料で紹介。時の將軍・大名・公家・豪商を心酔せしめた美の世界を再現する。



古田織部(1543~1615)

名を重然(しげなり)といい、利休亡き後、「天下一」と称された武将茶人である。

織部は、武名こそあまりないものの、茶の湯・連歌・和歌に秀で、信長横死後、太閤秀吉の御咄衆(おはなししゅう)となり、子の秀頼、徳川家康・秀忠父子に仕えた。茶の湯では師の利休を継承しつつ、茶道具の製作・建築・作庭など多岐にわたって活躍し、それは「織部好(このみ)」といわれて慶長年間(1596~1615)に爆発的に流行、それは織部が亡くなった後の元和・寛永期(1615~1644)まで続いた。「織部」というと、どうしても、緑釉がかけられた向付や、大胆な絵が施された歪(ゆが)み茶碗を想起するかもしれ



れないが、激動の桃山時代後期の茶の湯をリードした古田織部好の茶道具はそれにとどまるものではないのである。

注文書	
書店(帳合)印	
注文数	担当
冊	様
書名	
古田織部の世界	
発行	
(株)宮帯出版社	
京都市上京区真倉町739-1	
TEL(075)441-7747	
FAX(075)431-8877	
ISBN978-4-8016-0001-0 C0021 ¥1800E	
定価(本体1800円+税)	
年	月 日

(株)宮帯出版社

京都市上京区真倉町739-1

www.miyaobi.com

TEL(075)441-7747

FAX(075)431-8877